

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2012-176286(P2012-176286A)

【公開日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2012-136580(P2012-136580)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 C

A 6 3 F 7/02 3 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月17日(2012.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

縦長矩形状に形成された外枠と、

前記外枠の前面一側に軸支されて開閉自在に設けられた本体枠と、

前記本体枠に収容され、主として遊技領域が形成される遊技板部を有する遊技演出ユニットと、

所定の発射位置から遊技球を発射し、遊技領域の上部に設けられる球投入口から当該遊技領域へ遊技球を打ち込む発射装置と、

前記発射装置に隣接して前記本体枠に設けられ、前記発射装置にて発射される遊技球を案内可能な発射レールと、

前記遊技板部に設けられ、前記発射レールにて案内される遊技球を前記球投入口へ案内可能な外レールと、

前記遊技板部に設けられ、前記発射装置にて発射されたにもかかわらず前記球投入口まで至らなかつたファール球を受け入れるファール口を前記外レールの下側端部との間に形成する外側端部を有する案内通路部と、

前記案内通路部と前記発射レールとの間に形成するレール接続部材とを備えた遊技機であつて、

前記発射装置により前記発射レールから発射された遊技球が、前記レール接続部材、前記案内通路部及び前記ファール口を越えて前記外レールへ直接到達し、前記発射レール及び前記外レールによって、前記球投入口へ案内されるよう構成された遊技機であつて、

前記ファール口に受け入れられた前記ファール球が、前記発射装置に戻されることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記本体枠に開閉自在に軸支される扉枠と、

前記扉枠に設けられ、前記発射装置に供給される遊技球を貯留可能な皿ユニットを更に備え、

前記ファール口に受け入れられた前記ファール球が、前記皿ユニットを通じて前記発射装置に戻されることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記レール接続部材の前記発射レールと連結される部位が、前記発射レールの上端部よりも低くなるように構成されていること
を特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。